

旭ヶ丘キリストの教会

主日礼拝順序

2026年1月18日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙 祷		一 同
讃 美※	聖歌294「静かに待て」	一 同
主の祈り※	(聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください)	
讃 美	聖歌499「みくらいを降り」	一 同
教会学校	絵本「ファーマーさんはみすてない」	牧 師
讃 美	聖歌421「父なる御神に」	一 同
聖書朗読	使徒行伝20:28-32	
奨 励	使徒行伝の福音(第74回)	牧 師
主 題	「パウロの惜別説教②」	
讃 美	聖歌614「主の愛の汝が内に」	一 同
献 金	献金と感謝の祈り	
聖 餐		
頌 栄※	聖歌376「父、御子、御霊の」	一 同
祝 祷※		牧 師
来週の箇所	詩篇第14篇	

※印のところでは御起立下さい。

- ☆ はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申し上げます。しかし、初めての方に無理な勧誘をすることは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
- ☆ 私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
- ☆ 献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです(2コリント9:7)。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
- ☆ キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
- ☆ 第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
- ☆ 二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会 ニュース



【今週の歩み】

1/18(日) 聖日礼拝
/19(月)
/20(火)
/21(水)
/22(木) 10: 祈会13: ガルジ集会
/23(金) 10-12: OBSカフェ
/24(土) 13-16子供オブハンズ



【祈りの課題】

- ① 家族の救いのために
- ② 礼拝に来れなかった人々のために
- ③ 教会学校の子供たちが救われますように

説教時参考資料

「イエスという男」

(田川建三著「イエスという男」 1.「歴史の先駆者」より)

イエスはキリスト教の先駆者ではない。歴史の先駆者である。歴史の中には常に何人かの先駆者が存在する。イエスはその一人だった。おそらく、最も徹底した先駆者の一人だった。そして歴史の先駆者はその時代の、またそれに続く時代の歴史によって、まず抹殺されようとする。これは当然のことである。先駆者はその時代を拒否する。

…イエスは殺された男だ。ある意味では、単純明快に殺されたのだ。その反逆の精神を時代の支配者は殺す必要があったからだ。こうして、歴史はイエスを抹殺したと思った。しかし、そのあとを完全に消し去ることはできなかった。それで、今度はかかえこんで骨抜きにしようとした。そしてそれは、一応見事に成功してしまった。体制への反逆児が、暗殺されたり、抑圧による貧困の中で死んでいったりしたあと、体制は、その人物を偉人として誉めあげることによって、自分の秩序の中に組み込んでしまう。カール・マルクスが社会科の教科書に載った時、もはやカール・マルクスではなくなる、ということだ。こうしてイエスも、死んだあとで教祖になった。抹殺とかかえこみは、だから、本来同じ趣旨のものである。キリスト教は、イエスの抹殺を継続するかかえ込みであって、決して、先駆者イエスの先駆性を後に成就した、というものではない。イエスは相変わらず成就されず、先駆者として残り続けている…

聖書？ 新約聖書と呼ばれてきた書物は、本当はもちろん「聖書」ではない。こんなことは、誰でもよく知っているはずのことである。人間が書いた文章、歴史社会の制約の中で、また自分個人の制約と欠点もかかえて生きている、その人間が書いた文章が「聖書」、つまり超越的神的に絶対的な書物、一言一句いかなる欠点もなく、崇高で超越的な神の言葉なんぞであるわけがない。人間が書いたものは、あくまでも人間の歴史の記録である。まず、誰も知っているこの事実を正直に確認することからはじめるのでなければ、我々は、歴史上「聖書」と呼ばれてきた文書集の実態を正確に理解することはできないのである…

(田川建三訳「新約聖書」、「はじめに」より)